

香川県水道広域化基本計画【概要版】

1 組織・職員

本部・事務所等	執行機関・議会等	身分・職員
<ul style="list-style-type: none"> ○運営組織は企業団とし、高松市防災合同庁舎に本部を設置 ○各市町に事務所を設置し、平成32年度から県内5つのブロック統括センターに統合 	<ul style="list-style-type: none"> ○執行機関として企業長、副企業長、その他職員を置き、設立時の企業長、副企業長は首長から選任 ○意思決定機関として企業団議会を置き、議員定数は27人、議員は構成団体議会の議員から選出 ○財務、事務を監査する監査委員を置き、委員定数は2人 ○首長を委員とし、管理運営上の重要事項を協議する運営協議会を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○当分の間は構成団体からの職員派遣により対応 ○平成32年度から順次、身分移管及び企業団での新規採用を実施 ○設立当初は、現行職員数と同程度の職員数とし、順次、適正化

2 業務運営

平成30年度～	平成32年度～	平成40年度～
<ul style="list-style-type: none"> ○財務システム等の統一 ○設計積算・工事検査業務の統一 ○水質検査計画の統一 ○緊急時応援協定の締結 ○人事給与システム等の統一（H31） ○入札参加者名簿の統一（H31） ○浄水施設管理や窓口業務等の外部委託を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○料金、給水工事システム等の統一 ○検針・調定・収納の取扱の統一 ○入札・契約制度の統一 ○維持修繕の業務形態の統一 	<ul style="list-style-type: none"> ○水道料金の統一（区分経理終了） ○負担金、加入金の統一

3 施設整備

広域水道施設整備	経年施設更新整備
<ul style="list-style-type: none"> ○事業基盤を強化し、円滑な水融通を行うために必要な施設を整備 ○香川用水及び県内自己水源は、水利権水量の範囲内で、効率的に活用 ○施設能力や配水区域等で、合理的・経済的な施設は継続して運用、整理できる施設は運用を休廃止 	<ul style="list-style-type: none"> ○更新需要のピーク時期や規模を踏まえ、施設区分ごとに更新基準を設定 ○更新基準に基づき、施設の重要度や優先度、事業の平準化等を考慮した更新整備事業計画を策定 ○統合等で整理できる施設は休廃止するとともに、運営する施設の機能を効率的に活用し、更新需要を抑制

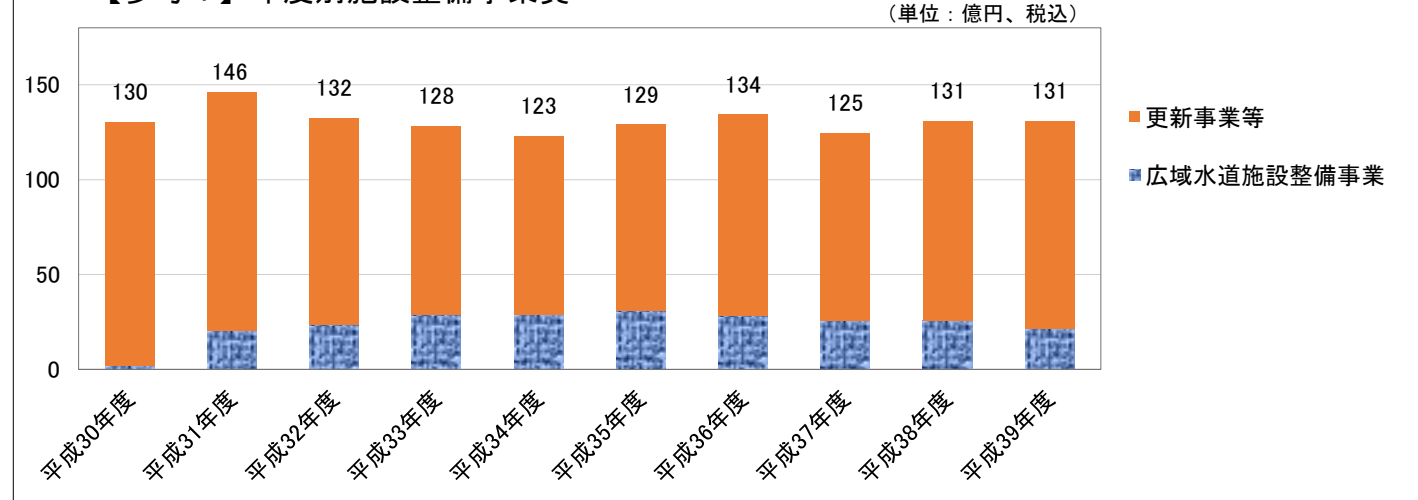
4 財政運営

基本方針	交付金・繰出金・資産の取扱い
<ul style="list-style-type: none"> ○平成39年度まで旧事業体ごとに区分経理を実施 ○旧事業体毎に費用収益のバランスを確認しながら水道料金を適切に設定 ○平成39年度に内部留保資金を料金収入の50%程度、企業債残高を料金収入の3.5倍以内となるよう財政運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○更新事業等を着実に実施するため、生活基盤施設耐震化等交付金を活用 ○区分経理期間中、平均改定率10%を超える料金改定を回避するために一般会計から繰出 ○各事業体の事業用資産、資本及び負債は、原則、無償で企業団に引継

5 その他

簡易水道、工業用水道事業の取扱い	下水道事業の取扱い
<ul style="list-style-type: none"> ○市町の簡易水道事業は、企業団設立時までに市町の上水道事業に統合し、五色台簡易水道事業は、企業団の業務開始にあわせ上水道事業に統合 ○中讃地区工業用水道事業は、企業団において一体的に管理運営し、水道事業会計と別会計で処理 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業団では下水道事業の移管は受けない ○企業団において一元的に処理することが可能な業務は、市町からの委託を受けて実施

【参考1】年度別施設整備事業費



【参考2】財政収支（県計）

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	小計 (30～39年度)
収益的収支	収入													
	料金収入	19,959	19,796	19,765	19,664	19,459	19,348	19,243	19,192	19,123	19,018	18,913	18,864	192,589
	その他	2,516	2,605	2,556	2,564	2,585	2,602	2,639	2,675	2,697	2,694	2,687	2,704	26,402
	計	22,475	22,401	22,321	22,228	22,043	21,951	21,883	21,866	21,820	21,712	21,600	21,567	218,991
支出	人件費	3,426	3,426	3,660	3,660	3,436	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	34,678
	支払利息	1,186	1,135	1,090	1,061	1,039	1,006	970	944	929	929	936	954	9,860
	減価償却費	8,199	8,069	7,927	8,284	8,526	8,608	8,649	8,786	8,971	9,227	9,411	9,636	88,026
	物件費・その他	6,704	6,708	6,793	6,779	6,678	6,671	6,659	6,607	6,597	6,590	6,578	6,574	66,526
計	19,516	19,338	19,470	19,784	19,679	19,702	19,695	19,755	19,915	20,164	20,343	20,582	199,090	
損益	2,959	3,063	2,850	2,443	2,364	2,248	2,187	2,112	1,905	1,547	1,257	985	19,900	
資本的収支	収入													
	企業債	3,426	3,826	4,837	5,065	3,926	3,511	3,802	3,824	4,332	4,216	4,473	4,510	42,496
	国の交付金	712	479	721	1,548	1,579	1,961	1,789	1,779	1,603	1,483	1,444	1,373	15,282
	一般会計繰入金・その他	900	1,404	1,496	1,515	1,503	1,463	1,049	1,126	1,116	889	875	1,055	12,087
計	5,038	5,709	7,054	8,128	7,009	6,935	6,640	6,729	7,051	6,587	6,792	6,938	69,865	
支出														
更新事業費	11,621	17,432	11,713	11,445	9,927	9,071	8,564	8,962	9,668	9,014	9,560	9,968	97,892	
広域水道施設整備費	0	0	175	1,852	2,121	2,599	2,648	2,788	2,555	2,342	2,353	1,946	21,377	
企業債償還金	3,475	3,447	3,507	3,494	3,577	3,588	3,624	3,483	3,440	3,353	3,250	3,121	34,437	
その他	681	681	1,424	1,500	1,055	999	1,083	999	999	999	999	999	11,056	
計	15,777	21,560	16,820	18,290	16,680	16,257	15,918	16,231	16,661	15,709	16,162	16,033	164,762	
資本的収支不足額	▲10,739	▲15,851	▲9,765	▲10,162	▲9,672	▲9,322	▲9,278	▲9,502	▲9,610	▲9,121	▲9,370	▲9,095	▲94,897	
内部留保金（資金残高）	21,809	15,533	14,988	13,986	13,615	13,540	13,459	13,199	12,792	12,768	12,378	12,207		
内部留保金/料金収入	1.09	0.78	0.76	0.71	0.70	0.70	0.70	0.69	0.67	0.67	0.65	0.65		
企業債償還残高	56,536	56,914	58,244	59,815	60,165	60,088	60,266	60,607	61,499	62,361	63,584	64,973		
企業債償還残高/料金収入	2.83	2.88	2.95	3.04	3.09	3.11	3.13	3.16	3.22	3.28	3.36	3.44		
供給単価(円/㎡)	177	177	178	178	178	178	178	178	178	179	179	179	179	

【参考3】供給単価の見通し

